

定例山行

おお わし やま
大 鷲 山

① さかいばし 境 橋コース ② え ぼ し 烏帽子林道コース

標 高 817m
所在地 朝日町

地形図 1/2.5万地図 泊、親不知
期 日 令和7年5月11日(日)
天 候 曇り
参加者 40名(男性16名・女性24名)

7:30 朝日町役場の駐車場に集合した。
GCLからの挨拶後、各班で自己紹介をした。
全体で初参加の2名、Nさん(滑川市)、
Uさん(入善町)からの自己紹介があった。

7:45 車12台に分かれて朝日町役場を出発した。

8:00 道の駅「越後市振の関」に到着した。トイレ、各自
準備体操をして、登山口まで徒歩で行った。

8:30 大鷲山登山口に到着し、全員そろったところで出発
した。



8号線沿いにある登山口

ほぼ海拔0m付近から山頂を目指せるというのは、なかなかできない経験だな
あと思って歩き始めたが、登り始めから急登だった。立派な杉の林が続いた。

8:47 鉄塔のあるひらけた場所で小休憩をした。ピンクのウツギの花が出迎えていた。

8:50 出発。ずっと急登が続く。杉林から松林が続いた。

9:25 小休憩。

9:30 再び登り始めた。足元にチゴユリが可憐に咲いていた。

9:38 丸山に到着した。
丸山と書かれた小さな三角形の石がちょこんと置かれて
いた。



可愛い石標

9:43 展望台を目指して出発した。
ここから50m以上下り、そして登り返しが待っていた。
ああここまで登ってきたのに下るのはもったいないとつい思ってしまうのは
私だけ？
立派なアカマツがまるで盆栽のようだった。

10:00 烏帽子山林道展望台「緑風」に到着した。
富山湾の美しい景色を見ながら休憩した。
海からの風なのか、けっこう強く吹いていた。

10:15 大鷲山山頂を目指して出発した。
ミツバツツジ、タムシバ、シロバナイチゴ、
タチツボスミレなど花見をしながら歩いた。

10:40 小休憩した。

10:45 出発。マメザクラがサクラランボのように2輪
セットで咲いていた。
この辺りは尾根沿いで、傾斜はほとんどなく
緩やかだった。
山頂手前で残雪があり、滑らないように気を
つけて歩いた。



頂上直下はまだまだ多くの雪

11:20 大鷲山山頂に到着した。風が少し強く吹いていた。下を見れば富山湾と能登半
島が見え、反対側には新緑と濃い緑に白い残雪が山に美しい画を描いていた。
林道コースの方々と合流した。
三角点にタッチ。
山頂には、「大鷲山 八一七」「山歩きは思い出と足跡」「ヒスイ海岸からよう
こそ」「おおわしやま 一山千学」の文字が刻まれていた。
集合写真を撮影し、昼食をとった。

12:00 下山を開始した。
タムシバやシャクナゲが美しい。
特にシャクナゲは、つぼみは濃いピンク色だが
咲くと淡いピンクに変わるようで、これから
満開を迎えると見ごたえがあるだろう。
木の根っこロードとぬかるみに注意しながら
下山した。



シャクナゲ

12:40 小休憩した。

12:45 出発した。

13:00 烏帽子山林道展望台に到着した。

13:10 再び出発した。

13:30 丸山に到着した。
樹林帯をどんどん進んだ。ぬかるんだ土が靴の溝を埋めてしまい、滑って転ん

でしまう人が何人もいた。

14:10 鉄塔前で最後の小休憩をした。

14:15 登山口までもう一息。

14:35 下山し、道の駅「越後市振の関」まで歩いた。

15:00 朝日町役場駐車場で再集合した。

初参加のUさんは「3分の1くらいでリタイヤしそうでしたが、みなさんと一緒に登れて良かったです。」、Nさんは（代弁）「林道コースは物足りなかった
ので、次の負釣山を楽しみにしています。」と感想を述べられた。

諸連絡後、解散した。

前日の夜、かなり雨が降っていたので、天候が心配でしたが、暑すぎず快適に登れました。時折、木々の間からさわやかな風が吹いてきて、汗ばんだ体を乾かしてくれました。5月らしく清々しい1日となりました。

登り始めからの急登で息を切らし、下山時は足元のぬかるみに苦戦しながらも楽しい山行でした。1日ずっと先頭でペースをつくっていただいたSさんの颯爽とした姿がとても素敵で憧れました。また、役員の方々には細かいところまで心配りをされていて、心より感謝しています。おかげで大きな事故やけががなく楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。

(No. 885 M・A)